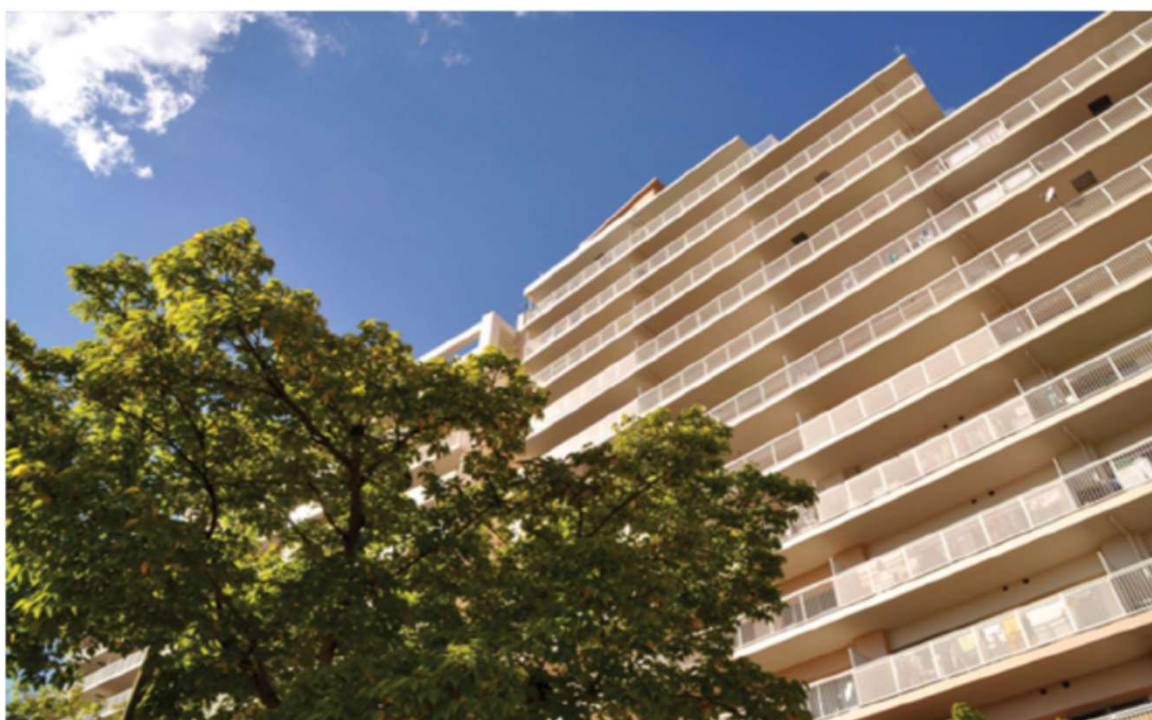


有限会社 但馬建設

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年1月31日)



発行日： 2024年2月1日

目 次

項 目
環境経営方針
組織の概要
事業及び事業活動の紹介
認証登録の対象組織・活動
環境経営組織図及び役割・責任・権限表
主な環境負荷の実績
環境経営計画の取組結果とその評価
環境経営計画の取組結果とその評価
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針

＜環境経営理念＞

有限会社 但馬建設は、建設工事の事業活動において、常に自然環境に与える影響を強く認識し、環境保全を意識して自主的・積極的に、環境保全への取組を推進します。

＜環境保全への行動指針＞

1. 私たちは、次の項目の実践を通じて環境経営の継続的な改善に取り組めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - 2) 廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 水道水の節水に努めます。
 - 4) 事務用品や工事材料等の適正量の購入とグリーン購入に努めます。
 - 5) 環境に配慮した施工に努めます。
2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の同意する要求事項を守ります。
3. 全社員に環境に関しての教育を行い、環境保全意識向上に努めます。

この環境経営方針を全ての従業員に周知します。

改定日：2022年4月1日

有限会社 但馬建設

代表取締役

安井 明美

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 有限会社 但馬建設
 代表取締役 安井 明美
- (2) 所在地
 本社 兵庫県養父市八鹿町下網場458番地10
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 環境管理責任者 安井晴美 TEL : 079-662-6644
 担当者 安井晴美 FAX : 079-662-6365
- (4) 事業内容
 般-26 土木工事業
 とび・土工工事業
 舗装工事業
- (5) 事業の規模
 売上高 1,000 万円
- | | |
|----------------------|--------------------|
| | 本社 |
| 従業員 名 | 4 名 |
| 延べ床面積 m ² | 100 m ² |
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動(全組織・全活動)

登録組織名 : 有限会社 但馬建設
 対象事業所 : 本社
 対象外 : なし
 活動 : 土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業

□事業および事業活動の紹介

工事实績



(一)円山川水系八木川河川災害復旧工事

■発注者：兵庫県
 ■工事場所：養父市八鹿町八木
 ■完成：平成24年度



寄宮地区集落内排水路整備工事

■発注者：兵庫県
 ■工事場所：養父市八鹿町寄宮
 ■完成：平成23年度



(一)円山川水系八木川護岸整備工事

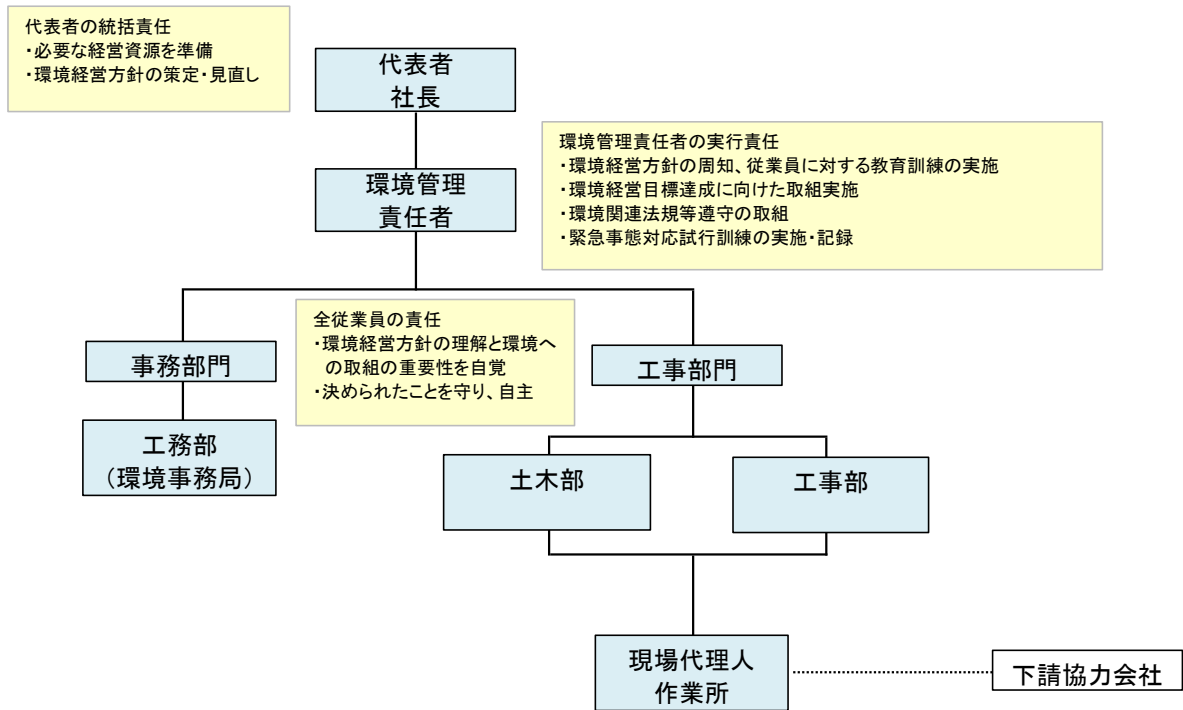
■発注者：兵庫県
 ■工事場所：養父市八鹿町八木
 ■完成：平成25年度



林道大ナル線災害復旧工事

■発注者：養父市
 ■工事場所：養父市八鹿町石原
 ■完成：平成25年度

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	18,282	2,325	1,416
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	240	54	84
産業廃棄物排出量	トン	349	445	35
水使用量	m ³	24	8	5

※二酸化炭素排出係数 0.522 kg-CO₂/kWh 関西電力の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む ※EA21対象化学物質の使用はありません。

※2023年度は2023年4月～2024年1月までを記載している。

□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		2018年度		2023年度		評価	2024年度	2025年度
		2018年4月～ 2019年1月		2023年4月～2024年1月				
		(基準値)		(目標) (実績)			(目標)	(目標)
電力使用に伴う二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	783	767	197	○	752	736	
	基準年度比		98%	25%		96%	94%	
燃料使用に伴う二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	10,677	10,463	1,218	○	10,250	10,036	
	基準年度比		98%	11%		96%	94%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	11,460	11,231	1,416		11,001	10,772	
一般廃棄物排出量削減	kg	100	98	84	○	96	94	
	基準年度比		98%	84%		96%	94%	
産業廃棄物排出量削減	t	2,000	1,960	35	○	1,920	1,880	
	基準年度比		98%	2%		96%	94%	
水使用量削減	m ³	10	10	5	○	10	9	
	基準年度比		98%	50%		96%	94%	
グリーン購入率向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%	
	基準年度比		100%	100%		100%	100%	
環境配慮施工実施		行動目標(次項による)						

※グリーン購入率(%) = グリーン商品品目数 / 購入品目数 × 100

※環境配慮施工の定義(各現場にて下表に関する環境配慮を1項目以上実施する)

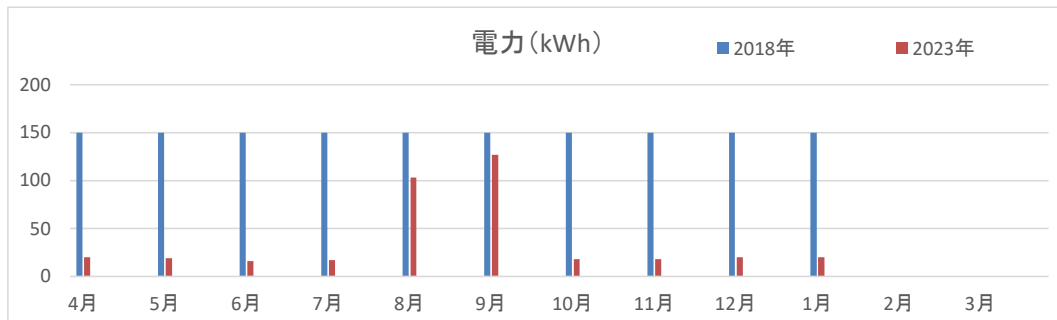
項 目	環境配慮内容(例)
水質汚濁防止に努める	汚濁防止フェンス設置
騒音・振動の発生抑制に努める	低騒音・低振動機械の使用、工事期間・時間帯の配慮、遮音施設の設置
大気汚染の防止に努める	排ガス対策型建設機械の使用、粉じん飛散防止等
環境に配慮した資材の使用に努める	再生材の使用等

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

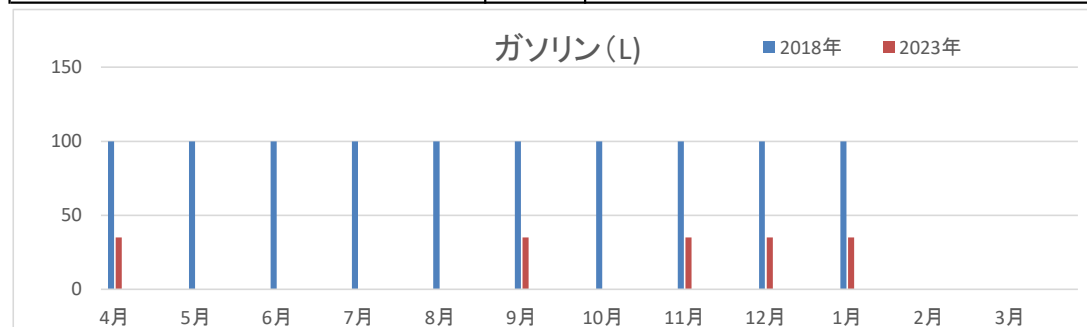
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力使用に伴う二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	OA機器は夜間、休日前主電源OFFを行い、空調も計画温度に近づける為、温度計により確認を行い温度調整を実施できたことは評価できる。引き続き取組を継続する。
・OA機器省電力設定	○	
・OA機器夜間、休日の主電源OFF	○	
・空調適温化	○	
冷房時:室温28度程度 暖房時:室温20度程度		

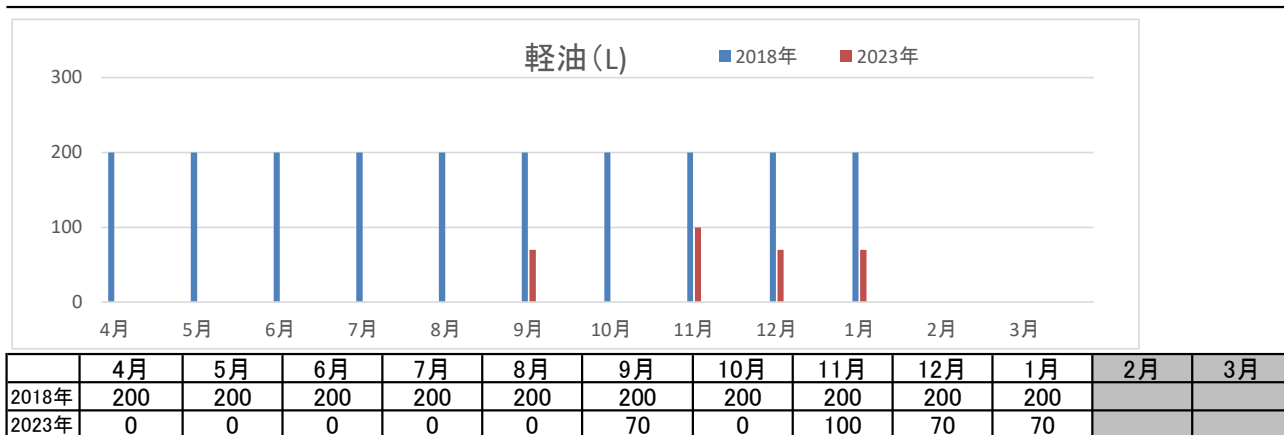


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150		
2023年	20	19	16	17	103	127	18	18	20	20		

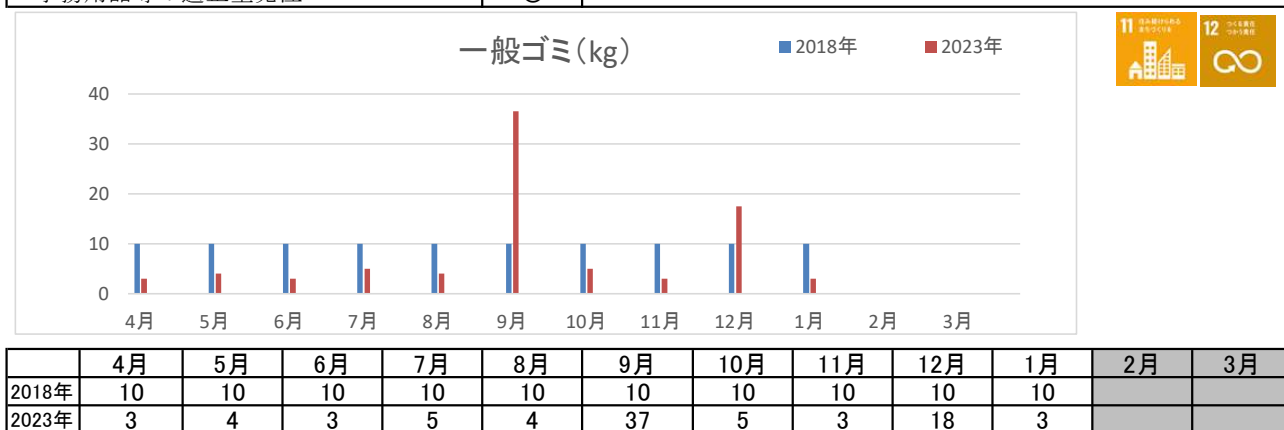
燃料使用に伴う二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エコドライブ10実施を現場事務所に掲示し、朝礼時声掛けを実施した。社員より運転時にエコドライブに気を付けて運転している等の声も聞け、概ね実施できたと評価できる。 数値の変動は稼働現場数や工事内容の変動にも影響されている。 引き続き取組を継続する。
・エコドライブ10実施	○	
・低燃費車への切替検討	—	
・ストーブ暖房時の適温化	○	
暖房時:室温20度程度		
・長時間作業中断時エンジン停止	◎	
・定期的な点検整備の実施	○	
・建設機械等作業時過負荷運転防止	○	



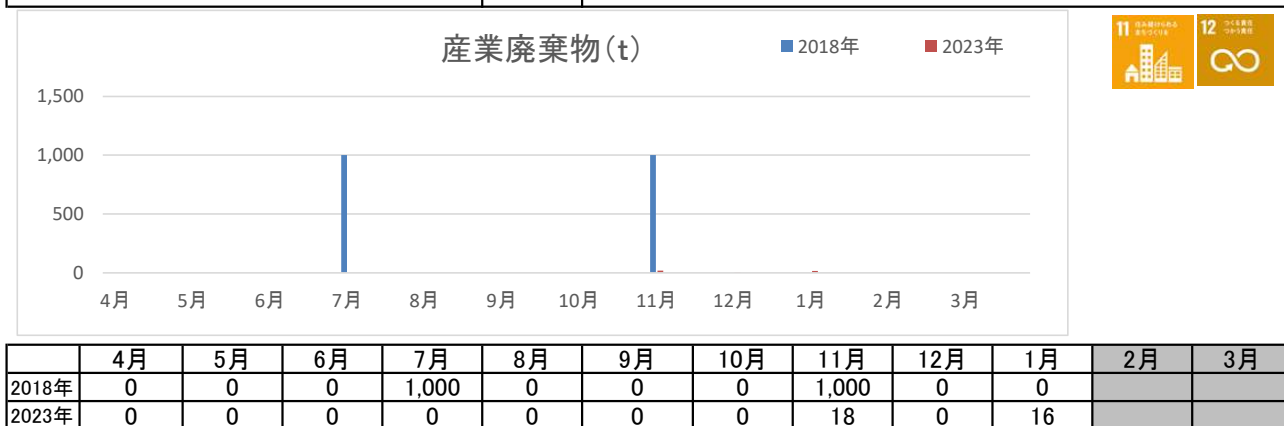
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
2023年	35	0	0	0	0	35	0	35	35	35		



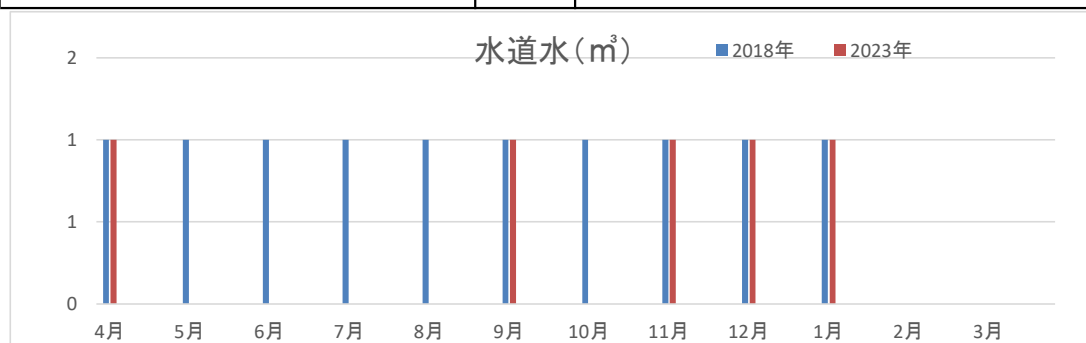
一般廃棄物排出量削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	事務用品、コピー用紙等、無駄を減らす為、ポスターを作成し現場事務所に掲示。ミスプリントは印刷前に確認している。 引き続き使い捨て製品の使用・購入を少なくする。
・使い捨て製品の使用や購入の抑制		○	
・製品の長期使用		○	
・ミスプリント削減		○	
・事務用品等の適正量発注		◎	



産業廃棄物排出量削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	必要な資材量は設計図を元に算出しているので残余資材はほぼ発生しなかった。手直しも殆どなかった。 引き続き取組を継続する。
・ 残余資材の再利用、転用		○	
・ 手直し工事、やり直し工事の防止		○	
・ 資材の適正量発注		○	



水使用量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	節水シールを水道付近に設置し日常的な節水励行を実施、概ね実施できた。引き続き取組を継続する。
・節水シールによる啓発	○	
・日常的な節水励行	○	
・ホースの先にストッパー取付及び手元止水	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
2023年	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1		

グリーン購入率向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	期間中に購入したものはコピー用紙であったがすべてエコ商品を購入できた。引き続きその他に資材についても検討していく。
・機能が同等の場合は、積極的にエコ商品選択	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
グリーン購入品(月別)	0	0	0	3	3	3	3	0	0	3			15
総購入品(月別)	0	0	0	3	3	3	3	0	0	3			15
グリーン購入率													100%

環境配慮施工実施	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・環境配慮型建設機械の使用	○	現場では、排ガス対策型建設機械、低騒音型建設機械を使用し、環境に配慮できた。引き続き環境負荷のより少ない資材、工法の提案を検討していく。
・周辺環境に配慮した施工計画立案	○	
・環境負荷の少ない資材、工法の提案	○	



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	委託契約、マニフェスト管理、保管基準、適正処理	遵守
建設リサイクル法	分別解体、特定建設資材廃棄物再資源化	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡、再資源化預託金	遵守
浄化槽法	届出、保守点検、清掃、法定検査	遵守
オフロード法	基準適合表示等が付された特定特殊自動車の使用	遵守
騒音規制法	特定建設作業届、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業届、規制基準の遵守	遵守
高圧ガス保安法	高圧ガスの適正な取り扱い	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン、冷蔵・冷凍庫等の有無の事前確認 発注者への書面説明、書面の3年間保存	遵守
消防法	消火器の設置、点検	遵守
南但広域行政事務組合火災予防	作業中の防火管理、指定数量未満の危険物の適正な取り扱い	遵守
兵庫県環境の保全と創造に関する条例	特定建設作業の届出	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局より違反等の指摘はなく、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年2月1日

今年度は更新審査を受審する年度であり、期の途中ではあるがクロージングを実施した。目標達成度評価は10ヶ月分の取組成果としてのものであり残りの2ヶ月も年度の計画に沿ってしっかりと環境への取組を進める必要がある。2024年1月末時点で取組に問題はないと考えるが、2023年度の終了時点で再度、全体の評価と見直しを行う。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり